

■After 建築名称 下段: 英語名	三軒茶屋の家／ブルーボトルコーヒー三軒茶屋カフェ House in Sangenjaya / Sangenjaya cafe		建築URL		
建築用途	大分類 商業施設、住居施設、展示施設	小分類 住居、カフェ、ギャラリー			
設計者	長坂常／スキーマ建築計画		設計事務		
所在地	東京都世田谷区三軒茶屋1-33-18		Google Ma		
改修年	2017年	元建築の竣工年			
建築規模 構造・階数・面積	構造、階数: 規模: 延床面積			After	カフェ1(奥)とカフェ2(手前)の間は既存のコンクリート躯体に、インフィルの白い壁が挿入されている。
掲載書誌	住宅特集 2018年2月号			撮影者 提供者	桐原武志 2026年撮影
賞・選定				概要 after	仕上げ材を撤去した跡に現れた、杉板型枠によるコンクリートの荒々しいスケルトンに対応した、軽快なインフィルを挿入することで、リノベーションならではの空間を作り出している
主な関連法規、条例、助成金等					
関連組織等					
資料等			資料のURL		
■Before 建築名称	住居兼診療所			概要 before	三軒茶屋の商店街からの袋小路に建つ、住居兼診療所のRC造2階建ての建物。
建築用途	大分類 住居施設、医療施設	小分類 住宅、診療所			
■写真 Before	リノベーション前の写真	After	カフェ1(手前)からカフェ(奥)を介して庭を見ることが出来る。	After	コンクリート壁とプレキャストコンクリート板の床との間に設けられた砂利を引き詰めた溝
					
撮影者 提供者	撮影: 提供:	撮影者 提供者	桐原武志 2026年撮影	撮影者 提供者	桐原武志 2026年撮影
■関連タグ/リノベーションキーワード	用途変更、痕跡、対比、スケルトンインフィル、				
■リノベーション内容	<p>■概要</p> <p>三軒茶屋駅に近い商店街のビルの指導の先に建つ、鉄筋コンクリ壁式構造2階建ての住居兼診療所の建物の2階を住居、1階をブルーボトルコーヒーのカフェとオーナーが運営するギャラリーにするリノベーション。建物の奥にはこの地としては広い庭がある。</p> <p>■リノベーション内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のコンクリート躯体を活かす: 内装材を撤去しスケルトン状態にしたときあらわしになった杉板による型枠で打設された荒々しい表面のコンクリート壁を活用し、現在の軽快な仕上げ材と対比したリノベーション建築ならではの空間が生まれている。 ・内部と外部を繋ぐ・・・商店街からのアプローチ通路だけでなく、カフェの床、庭に面するテラスも300mm角のプレキャストコンクリート板で敷き詰められ、内外の空間の一体感を生んでいる。凹凸のあるコンクリート面と、均一の工業化製品との取り合い部分には砂利を引き詰めた細い溝を設け調整している。 ・杉型枠コンクリートとPC版の対比・・・既存の杉板型枠コンクリートの荒々しさを活かすため、新たに敷き詰めた床はPCコンクリート板で仕上げている。 				
■備考					
■作成者 氏名/所属	桐原武志 Free/JIA再生部会		作成協力者	スキーマ建築計画	整理番号 No 248